



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

夢・希望・絆の志津南



迫力満点の草津本陣太鼓

ふれあい夏まつり盛大に 約4千人が真夏の祭典楽しむ

行委員長)が7月

24日夕、若草中央公園で開催、昨年とはほぼ同じ約4千人が参加しました。

天候は昨年と違って晴天...と思いきや、竜巻注意報が発令され遠くで雷鳴がとどろく中での開催となりましたが、皆さまの夏まつりへの熱意のせいか雨が降ることもなく大変暑い夏らしい夕刻を迎え午後5時頃には、多くの方々がお見えになり盛大な幕

開けとなりました。

今年は、高穂中学校吹奏楽部がコンクールのため、出演してもらえなかったのは残念でしたが、サンセットコンサートとして「G・S・O、カルテットのEです、ASK」のみなさんの素晴らしい演奏で盛り上げていただくことができました。

司会のお二人の絶妙な掛け合いは会場に笑いをふりまき、草津本陣太鼓の迫力ある音は爽快

暑さ吹き飛ばす熱演

○：何年ぶりの猛暑の中、恒例の第13回「志津南ふれあい夏まつり」はサンセット・コ

感をもたらしてくれました。

若草くるみ保育園児の浴衣姿や甚平さんを着て踊る姿は、かわいらしく、パパやママ、みなさんが目を細めシャッターを切っている姿は、ほほ笑ましい光景でした。

少子化と言われる昨今ですが、この日ばかりは多くの子どもたちで夏祭り会場は賑わい、若いパパとママに、年齢を感じさせないハツラツとしたおじいちゃん、おばあちゃん。そこかしこに家庭的な雰囲気漂っていました。

盆踊りは「六地藏江州音頭同

ンサートで華々しく開幕しました。

コンサートは地域出身者を中心に組まれた三つの楽団「G・S・O」、「カルテットのEです」、「(フラスロックバンド)ザ・ソール・トゥ・アスク」の皆さんの演奏で始まりました。

おなじみの「G・S・O」は子供向けの曲から和・洋のスタンダード、そして演歌まで、飛び入りの子供の合唱を含め演奏、「カルテットのEです」は滋賀県をはじめ幅広い地域でも活躍のカルテットで、フルートを中心に抒情豊かに演奏。最後の「ザ・ソール・トゥ・アスク」は滋賀・京都を中心に活躍のフラスロックバンドで、その名のおり金管楽器と打楽器という、いわゆる「生楽器」で編成、老若男女全てがウキウキする楽しい曲が夏まつりのスタートを盛り上げました。

この盛り上がりは今一度と突然三楽団がコラホレーション。全員で「聖者の行進」を演奏、会場の皆さんも暑さを忘れて全員手拍子でこれに添えています。

好会」のメンバーのリードで大人も子どもも踊りの輪に加わる地域住民が一つになった瞬間でした。

恒例の抽選会では皆さんの真剣な眼差しの中、当選者の歓声が響きわたりました。

今年は、昨年比ベチケット販売の数が1.2割強の伸びで、各模擬店も完売状態で終えることができました。

地域住民、各団体、役員のみなさんのお力添えで無事に終えることができましたこと、紙上を借りてお礼申し上げます。

(夏まつり実行委員会)

オー、タノシイね



○：盆踊りの輪の中で一際派手に踊っていたのはイギリス人のジョンソンさん。娘のサンニャちゃん(1歳11か月)を振り回すように踊っていた「写真真。青山に日本人の奥さんと任んでいる。IT関係の仕事でイギリスと日本を行ったり来たり、だそうだが、日本のまつりは「楽しい」と満足そうだった。

会場を盛り上げた楽団演奏



2011.07.24

この盛り上がりは今一度と突然三楽団がコラホレーション。全員で「聖者の行進」を演奏、会場の皆さんも暑さを忘れて全員手拍子でこれに添えています。

焼きそばも チームワークで



ス係、盛りつけ係、販売係。若手からシニアのソフトボール部員約30人が分担。

部員の奥さんや娘さんも加わりいきつく暇もない流れ作業の中、出来上がったかなりおいしい? 「焼きそば」が飛びように売れていきました。

クラブのモットーである「チームワーク」がここでも遺憾なく発揮され、夏まつり佳境のうちに午後8時過ぎ、快心のゲームセットを迎えました

人気のフランクフルト

○: フランクフルトが恒例となった体育振興会。「衛生面を考えて、いったんゆででから焼くというひと手間を加えて調理しています」とアピール。

若草一味クラブ(田中優代表)と若寿会(奥田隆三会長)は「志津南ふれあい夏まつり」を控えて

砂をいれイシクラゲ退治

た7月9日、合同で会場の若草中央公園の砂入れを行いました。梅雨の長雨のせいでグ

危険があることから、常時公園を利用するグラウンドゴルフの一味会と公園の清掃奉仕に当たっている若寿会が

ラウンドにはヌルヌルした「イシクラゲ」が大量に発生。グラウンドゴルフなど競技中に足を滑らせ事故につながる

これらで夏祭りを安心して迎えられると奉仕活動を終えたメンバーは汗をぬぐっています。

「協働」して砂を入れました。この日午前10時に出勤した双方の有志約20人が、4トントラック4台分、およそ8立方メートルの砂を所要場所に入れ、2時間後に完了しました。

掛け声も威勢よく

○: わんぱくプラザ南っ子の子どもたちが、アイスクリーム



一本、一本ていねいに焼き上げたフランクフルトは大人気。子どもたちがおいしそうに、ほおぼっていました。写真。

の販売に大奮闘してくれました。子どもたちの威勢のいいかわいかけ声に、用意した300個のアイスもあっという間にすべて売り切れ。浴衣姿もまじったお客さんたちがアイスクリームの味を楽しんでいました。



そろいのはっぴで盆踊り

○: 今年は暑い夏まつり。クライマックスの盆踊りでは、たくさんの子どもたちが参加し、櫓を囲んで赤いはっぴ姿で踊る姿が目を引きました。写真。子どもたちに負けてはならじと、大人も汗をかきかき踊りの輪を盛り上げていました。来年も盆踊りを楽しみに夏まつりに参加してくださいね。



草津市がこれまで試験的に無料運行していたまめバスが、平成24年度以降の本格運行に伴う適正な運賃設定に向け、8月2日から有料化されました。運賃は大人(中学生以上)1乗車200円、小学生は同100円(幼児、6歳未満は無料)となります。また身体障害者手帳、療育手帳および障害者手帳を持っている方は証明書提示により半額となります。交通手段として車を使える人が、これまでの利用者は1便あたり平均1人程度です。



まめバスが有料に

を走行するまめバスは、

志津医大線の帝産バス草津車庫と滋賀医科大学病院を結ぶ路線で志津南市民センターと若草一丁目に停留所があり、平成22年3月29日に開設されましたが、これまでの利用者は1便あたり平均1人程度です。

災害時支援体制がスタート

行政と地域が支援を役割分担

草津市は今年5月、災害時自力で避難することが困難な人たちを支援する災害時要援護者避難支援制度を策定しました。

市の見守りや災害時の避難支援に活用して、減災に役立てようという制度です。

地震などの災害発生時に避難の支援を必要とする人たちの対象に同意を得た上、個別に支援プランを作成し、要援護者の日

頃の見守りや災害時の避難支援に活用して、減災に役立てようという制度です。

市は既に同制度の推進にあたり、各学区毎に説明会を実施しています。当地区においても7月31日に市民センターで市危機管理課が民生委員、福祉委員(社協)を対象に制度の概要と個別の役割、活動の内容、個人情報に関する注意事項などの説明会が行われました。



災害時要援護者支援制度啓発パンフ

要と個別の役割、活動の内容、個人情報に関する注意事項などの説明会が行われました。

同制度の要点は、グループ1(障害者)、グループ2(75歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯、要介護1以上の認定者)

- 8月21日(土)
 - ☆健康ウォーキング
 - 8:15 若草中央公園集合
- 8月25日(水)
 - ★やすらぎ学級
 - 13:30~17:00
- 8月28日(土)
 - ★人権講座・第三講座 19:00~
 - ☆社会奉仕
 - 8:30 若草中央公園集合
- 9月3日(金)
 - ★定例健康相談日
 - 9:30~12:00 市健康推進課
 - ★ふれあい昼食会
 - 12:00~13:00
 - ボランティア「泉」
- 9月4日(土)
 - ☆健康ウォーキング
 - 8:15 若草中央公園集合
- 9月12日(日)
 - ★敬老会:社会福祉協議会
 - 10:30~15:00
- 9月14日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会
 - 10:00~11:30
- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶「お茶の間」
 - 10:00~12:00
 - 若草第五集会所
 - ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

正に管理されこの目的以外に使用されることはありません。なお、市はこの制度を支えていく関係者の役割や連携の仕方等について、細部を詰めていく

必要があることから、説明会で出た質問や意見も組み入れて「避難支援プラン」の具体的な推進について「検討し作成していく」とともに、自治連合会等に対

する説明会と協力要請およびこの日の結果を受けて具体的な推進についての再度の打ち合わせ説明会も行うことになっています。

完成した七夕に笑顔がいっぱい



「たんぼぼ」が七夕会

描いてささ飾りにしました。短冊には可愛い願い事や、家族へ愛情あふれる言葉も書かれました。最後にお母さんの弾くピアノに合わせ「ささの葉サラサラ のきばに ゆれるお星さま キラキラ」とにぎやかに歌い楽しいひと時を過ごしました。

また今回は少しでも青々とした笹を持って帰れるようにと早朝、地域の方、民生委員さんが準備をしてくださりました。いつも多くの地域の方に支えていただきありがとうございます。

若草文庫は七夕祭り

若草文庫(村井由美子代表)



子育てグループ「たんぼぼクラブ(井畑和子代表)」は6月29日、志津南市民センターで七夕会を開きました。15組の元気な親子が集まりました。子どもたちは七夕にちなんだ紙芝居を瞳をキラキラさせながら熱心に見入ったあと、笹飾りに取り組みました。色紙や千代紙を糊でくっつけたり、画用紙に思い思いの絵を

ゲームを楽しむ参加者



ふれあい囲碁ボール大会

志津南地区社会福祉協議会(小野栄祐会長)主催の町内ふれあい囲碁ボール大会が7月3日、志津南市民センターで開催され、町内の子供から老人まで約60人が参加しました。

囲碁ボールは、所定のスティックでボールを打ち、マットの溝穴にボールを入れる五目並べ方式の競技です。

奥田若寿会会長からルール説明を受けたあと、参加者は2面のコートに分かれて競技、和やかなひと時を過ごし懇親を深めました。

なお、囲碁ボール競技は毎月第一、第二水曜日13時から志津南市民センターで「一味クラブ」主催で開いています。興味のある方はどなたでも、ぜひご参加下さい。

(志津南社協、福祉部会)

絵本の大切さを学んだお母さんたち



絵本で親子の絆深めて センターが家庭教育支援講座

志津南市民センター主催の家庭教育支援講座「親子で絵本の世界を楽しもう!」が6月24日と7月1日の二回、同センター(公民館)で開催されました。

この講座は、1歳から2歳の乳幼児とその保護者を対象に、親子が絵本の読み聞かせを通して、絵と言葉が織りなす世界を楽しみながら親子の絆を育んでいく手助けを目指すものです。

南草津市立図書館の濱加代子司書を講師に、第一回は、絵本の読み聞かせの大切さを聞いたあと、濱司書が絵本を朗読、親子で絵本の世界に浸りました。

ゴムチューブで筋トレ

志津南市民センターは、夏真っ盛りの7月9日、16日、22日の三日間、高齢者等つどい推進事業として「セラバンド講座」筋トレで変わる私の生活!」を開催しました。

講座には22人が参加、藤田

優しさや温かさが感じられる絵本、リズムカルで心地よい言葉のくり返して語られている絵本などいろいろな絵本を体験しました。

最後に、おうちに帰って、絵本の読み聞かせをしてみよう

講師の指導で筋肉トレに励む参加者



聡講師の掛け声で、それぞれに適した長さのゴムチューブを使って筋肉トレーニング。講師のていねいな指導で楽しく運動を続けました。

継続することが大切なので、毎週金曜日午前に、自主教室として活動していくことに決まりました。参加ご希望の方は市民センターまでご連絡ください。

と課題をいただきました。

第二回は、おうちで読み聞かせをしてみた感想や質問などを話して、親同士の交流を深めました。今回の講座は、絵本の読み聞かせを通して、親の愛を伝え、親子の愛情を深める楽しい

折々の記

グリーンヒルに住むようになつてから2回目目の夏まつりを迎えま

夏まつりは地域が一体となつての行事なので、楽しく参加させていただいています。雷が鳴り夕立ちを心配しましたが何事もなく、色々な模擬店やアトラクションを楽しませていただきました。

まっぴりのマナー

い夏まつりになるようお願いしています。

また、前号

模擬店も盛況で、長蛇の列ができた所も多く見受けられました。参加者が多いだけに、食べ残しの放置やごみの分別など、会場でのマナーの悪さが目立ちました。家庭でのルールの延長線上であるにもかかわらず、みんなが楽しむ場になせ同じことが出来ない人がいるのか不思議です。

でも社協の地域活動計画や草津市の要援護者避難支援制度が紹介されておりました。地域のことは地域の方々が、助け合い、協力し合って行くのがこれから必要ではないかと思えます。

私も地域住民として行事に積極的に参加し、住みよいまっぴりに協力したいと思っています。

(グリーンヒルズ)

ひとときとなりました。

また、お母さん同士のネットワークができ、新たな活動、交流が始まるよう期待しています。

「まちかどアングル」休みます